



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社
 コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 豊嶋哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理統括部門長 (氏名) 青柳清文 TEL 03-3216-2747
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	411,966	△2.1	36,377	24.1	40,038	21.1	36,226	38.3
2025年3月期	420,647	10.0	29,321	43.0	33,051	22.8	26,199	△15.8

(注) 包括利益 2026年3月期 43,476百万円 (66.3%) 2025年3月期 26,142百万円 (△25.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	186.67	186.58	9.9	7.4	8.8
2025年3月期	127.43	127.37	7.3	6.2	7.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 44百万円 2025年3月期 74百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	548,246	378,252	68.9	1,972.74
2025年3月期	533,786	357,992	66.9	1,810.79

(参考) 自己資本 2026年3月期 377,476百万円 2025年3月期 357,252百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	76,436	△42,439	△34,920	28,437
2025年3月期	20,781	△22,026	△17,123	26,836

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	14,309	54.9	4.0
2026年3月期	—	36.00	—	40.00	76.00	14,725	40.7	4.0
2027年3月期(予想)	—	39.00	—	40.00	79.00		42.6	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,000	△1.7	38,000	4.5	37,000	△7.6	36,000	△0.6	185.51

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更: 有
新規 1社 (社名) ZEON KOREA Co.,LTD.、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
② ①以外の会計方針の変更: 有
③ 会計上の見積りの変更: 有
④ 修正再表示: 無

(注) 詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	209,251,256株	2025年3月期	215,251,856株
② 期末自己株式数	2026年3月期	17,905,749株	2025年3月期	17,961,486株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	194,061,372株	2025年3月期	205,594,914株

※ 当社は、「株式給付信託(BBT-RS)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	285,962	△1.6	22,988	31.7	29,092	23.8	27,292	37.0
2025年3月期	290,545	15.2	17,462	60.3	23,491	10.9	19,927	△34.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	140.64	140.57
2025年3月期	96.92	96.88

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	443,636	254,740	57.4	1,330.85
2025年3月期	428,670	247,672	57.8	1,254.93

(参考) 自己資本 2026年3月期 254,653百万円 2025年3月期 247,585百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、P.4「1. 経営成績等の概況(4)次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 次期の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	18
(重要な後発事象の注記)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①当期の概況

当期の経営環境を振り返りますと、国内経済・海外経済ともに緩やかな回復が継続する一方、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や、一部産業に対する米国の通商政策の影響などが景気を下押しする懸念が依然として拭えず、また、期末においてはイラン軍事衝突に起因したホルムズ海峡の事実上の封鎖に伴うサプライチェーンの混乱が顕在化するなど、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は4,119億66百万円と前年同期間に比べて86億81百万円の減収、連結営業利益は363億77百万円と前年同期間に比べて70億56百万円の増益、連結経常利益は400億38百万円と前年同期間に比べて69億87百万円の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は362億26百万円と前年同期間に比べて100億27百万円の増益となりました。

区 分	2026年3月期		2025年3月期		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	率(%)
売上高	411,966	100.0	420,647	100.0	△8,681	△2.1
エラストマー素材事業	223,680	54.2	236,560	56.2	△12,879	△5.4
高機能材料事業	124,217	30.2	121,617	28.9	2,600	2.1
その他の事業	67,356	16.4	67,615	16.1	△259	△0.4
消去又は全社	△3,287	△0.8	△5,145	△1.2	1,858	—

区 分	2026年3月期		2025年3月期		増減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	率(%)
営業利益	36,377	8.8	29,321	7.0	7,056	24.1
経常利益	40,038	9.7	33,051	7.9	6,987	21.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	36,226	8.8	26,199	6.2	10,027	38.3

②部門別の概況

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、期を通じての海外市場の需要低迷、また、期末の高騰以前における原料価格の下落基調に応じた販売価格下落の影響により、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋市場における需給緩和が継続したことから、売上高は前年同期間を下回りましたが、販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は前年同期間を上回りました。

化成品関連では、海外を中心に粘着テープ・ラベル向け需要が低迷したことなどから、売上高は前年同期間を下回りましたが、原料価格の下落や販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は前年同期間を上回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて128億79百万円減少し2,236億80百万円、営業利益は前年同期間に比べて7億34百万円増加し116億65百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、シクロオレフィンポリマーの光学レンズ用途向け需要が低迷し、医療その他向けでも一部顧客の在庫調整等の影響を受けましたが、大型テレビ向け光学フィルムの需要が堅調に推移したことにより、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

電池材料関連では、中国政府の補助金政策を背景に同国内におけるESS（電力貯蔵システム）・車載・民生向けの需要が堅調に推移し、欧州、米国においてもAIデータセンター向けをはじめESS用電池の需要が大幅に増加したことから、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

化学品関連では、半導体業界の旺盛な需要を受け、特殊溶剤の販売が堅調に推移しました。一方、合成香料は市場

における競争環境が厳しくなっている影響を受け販売が振るわず、化学品全体としては売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電子材料関連では、半導体市場における活発なAI関連投資を背景に需要が旺盛となり、さらにディスプレイ市場の堅調な需要も加わったことから、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

トナー関連では、プリンター本体およびアフターマーケット市場の需要が一時的な調整局面にあり、売上高は前年同期間を下回りましたが、原料価格の下落や棚卸資産関連費用の減少等により、営業利益は前年同期間を上回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて26億円増加し1,242億17百万円、営業利益は前年同期間に比べて48億61百万円増加し224億21百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、R I M配合液等の売上高が前年同期間を下回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて2億59百万円減少し673億56百万円、営業利益は前年同期間に比べて4億25百万円増加し42億90百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末のエラストマー素材事業の資産は、前連結会計年度末に比べ、113億39百万円減少し、2,258億80百万円となりました。当連結会計年度末の高機能材料事業の資産は、前連結会計年度末に比べ190億74百万円増加し、1,678億31百万円となりました。当連結会計年度末のその他及び全社資産等の資産は、前連結会計年度末に比べ、67億25百万円増加し、1,545億35百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、144億60百万円増加し、5,482億46百万円となりました。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、58億円減少し、1,699億94百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、202億60百万円増加し、3,782億52百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

単位：百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,781	76,436	55,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,026	△42,439	△20,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,123	△34,920	△17,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,650	1,388	△262
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△16,717	464	17,181
現金及び現金同等物の期首残高	42,533	26,836	△15,697
現金及び現金同等物の期末残高	26,836	28,437	1,601

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ16億1百万円(前年度比6.0%増)増加し、284億37百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は764億36百万円(前連結会計年度末に比べ556億54百万円の増加)となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益の493億6百万円、売上債権の増減額196億39百万円、棚卸資産の増減額181億53百万円などにより資金が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は424億39百万円(前連結会計年度末に比べ204億14百万円の資金支出の増加)となりました。

これは主として、投資有価証券の売却による収入217億12百万円などにより資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出583億74百万円などで資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は349億20百万円(前連結会計年度末に比べ177億98百万円の資金支出の増加)となりました。

これは主として、配当金の支払額138億87百万円、自己株式の取得による支出100億7百万円、コマーシャル・ペーパーの減少100億円などによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	65.7	64.3	68.1	66.9	68.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	60.3	56.5	52.4	55.3	61.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	1.9	0.2	1.2	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	248.5	145.8	519.3	107.1	438.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 次期の見通し

次期の連結業績見通しについては、為替相場は150円/\$、ナフサ価格は63,000円/KLを前提として、売上高4,050億円(前期比1.7%減)、営業利益380億円(同4.5%増)、経常利益370億円(同7.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益360億円(同0.6%減)を見込んでおります。

なお、中東情勢の悪化による影響は次期の連結業績見通しには含めておりません。イラン軍事衝突に起因したホルムズ海峡の事実上の封鎖に伴うサプライチェーンの混乱により世界経済への深刻な影響は避けられず、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き不透明な状況が続くものと予想されますが、当社製品を継続して安定的に市場へ供給できるよう努めてまいります。今後、事業及び業績に与える影響等が判明した段階には、速やかに公表いたします。

(連結)

区 分	2027年3月期		2026年3月期		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	率(%)
売上高	405,000	100.0	411,966	100.0	△6,966	△1.7
エラストマー素材事業	219,500	54.2	223,680	54.3	△4,180	△1.9
高機能材料事業	125,000	30.9	124,217	30.2	783	0.6
その他の事業	64,000	15.8	67,356	16.3	△3,356	△5.0
消去又は全社	△3,500	△0.9	△3,287	△0.8	△213	—

区 分	2027年3月期		2026年3月期		増減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	率(%)
営業利益	38,000	9.4	36,377	8.8	1,623	4.5
経常利益	37,000	9.1	40,038	9.7	△3,038	△7.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	36,000	8.9	36,226	8.8	△226	△0.6

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,366	28,678
受取手形及び売掛金	81,570	63,776
電子記録債権	5,667	4,611
商品及び製品	109,037	93,361
仕掛品	8,270	7,562
原材料及び貯蔵品	24,284	23,325
未収入金	34,111	27,715
その他	7,940	8,633
貸倒引当金	△111	△116
流動資産合計	298,134	257,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,382	49,246
機械装置及び運搬具（純額）	40,706	50,820
土地	17,937	18,069
建設仮勘定	34,361	70,354
その他（純額）	5,316	5,627
有形固定資産合計	143,703	194,116
無形固定資産		
その他	5,985	6,337
無形固定資産合計	5,985	6,337
投資その他の資産		
投資有価証券	71,191	73,712
繰延税金資産	7,564	6,486
その他	9,371	13,123
貸倒引当金	△2,163	△3,073
投資その他の資産合計	85,964	90,248
固定資産合計	235,652	290,701
資産合計	533,786	548,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,617	58,734
電子記録債務	2,892	2,550
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	17,000	7,000
未払金	21,764	29,430
未払法人税等	2,979	10,005
賞与引当金	3,067	2,783
修繕引当金	7,709	4,728
その他の引当金	12	25
その他	19,022	20,036
流動負債合計	152,022	144,250
固定負債		
長期未払法人税等	—	40
繰延税金負債	1,142	1,421
退職給付に係る負債	14,195	12,983
修繕引当金	1,181	3,044
その他の引当金	435	531
その他	6,817	7,725
固定負債合計	23,771	25,744
負債合計	175,793	169,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,323	19,323
利益剰余金	287,773	302,770
自己株式	△21,910	△23,853
株主資本合計	309,398	322,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,815	26,120
繰延ヘッジ損益	△4	4
為替換算調整勘定	25,819	28,131
退職給付に係る調整累計額	225	769
その他の包括利益累計額合計	47,854	55,023
新株予約権	88	88
非支配株主持分	652	689
純資産合計	357,992	378,252
負債純資産合計	533,786	548,246

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	420,647	411,966
売上原価	302,414	290,764
売上総利益	118,233	121,202
販売費及び一般管理費	88,913	84,826
営業利益	29,321	36,377
営業外収益		
受取利息	312	228
受取配当金	2,759	2,919
為替差益	1,138	2,010
持分法による投資利益	74	44
雑収入	1,382	819
営業外収益合計	5,664	6,021
営業外費用		
支払利息	157	177
休止固定資産費用	341	740
投資事業組合運用損	219	—
貸倒引当金繰入額	580	859
雑損失	637	584
営業外費用合計	1,934	2,359
経常利益	33,051	40,038
特別利益		
固定資産売却益	37	706
投資有価証券売却益	8,294	17,310
その他	393	14
特別利益合計	8,724	18,030
特別損失		
固定資産処分損	840	1,095
減損損失	5,808	4,796
投資有価証券評価損	966	2,288
その他	1,247	582
特別損失合計	8,861	8,762
税金等調整前当期純利益	32,915	49,306
法人税、住民税及び事業税	8,953	13,922
法人税等調整額	△2,393	△931
法人税等合計	6,559	12,991
当期純利益	26,355	36,315
非支配株主に帰属する当期純利益	156	90
親会社株主に帰属する当期純利益	26,199	36,226

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	26,355	36,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,687	4,305
繰延ヘッジ損益	△11	8
為替換算調整勘定	7,911	2,095
退職給付に係る調整額	219	544
持分法適用会社に対する持分相当額	355	209
その他の包括利益合計	△214	7,160
包括利益	26,142	43,476
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	25,951	43,368
非支配株主に係る包括利益	190	107

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,211	19,582	289,930	△19,435	314,288
当期変動額					
剰余金の配当			△12,674		△12,674
親会社株主に帰属する当期純利益			26,199		26,199
自己株式の取得				△20,000	△20,000
自己株式の処分		△5		292	287
自己株式の消却		△17,233		17,233	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		16,777	△16,777		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		203			203
連結範囲の変動			1,095		1,095
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△258	△2,157	△2,475	△4,890
当期末残高	24,211	19,323	287,773	△21,910	309,398

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	30,502	7	17,576	6	48,092	88	1,262	363,729
当期変動額								
剰余金の配当								△12,674
親会社株主に帰属する当期純利益								26,199
自己株式の取得								△20,000
自己株式の処分								287
自己株式の消却								—
利益剰余金から資本剰余金への振替								—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								203
連結範囲の変動								1,095
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△8,687	△11	8,242	219	△237	—	△609	△847
当期変動額合計	△8,687	△11	8,242	219	△237	—	△609	△5,737
当期末残高	21,815	△4	25,819	225	47,854	88	652	357,992

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,211	19,323	287,773	△21,910	309,398
当期変動額					
剰余金の配当			△13,972		△13,972
親会社株主に帰属する当期純利益			36,226		36,226
自己株式の取得				△10,001	△10,001
自己株式の処分				76	76
自己株式の消却		△7,982		7,982	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		7,982	△7,982		—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
連結範囲の変動			725		725
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	14,997	△1,943	13,054
当期末残高	24,211	19,323	302,770	△23,853	322,452

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	21,815	△4	25,819	225	47,854	88	652	357,992
当期変動額								
剰余金の配当								△13,972
親会社株主に帰属する当期純利益								36,226
自己株式の取得								△10,001
自己株式の処分								76
自己株式の消却								—
利益剰余金から資本剰余金への振替								—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								—
連結範囲の変動								725
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	4,305	8	2,312	544	7,169	—	37	7,206
当期変動額合計	4,305	8	2,312	544	7,169	—	37	20,260
当期末残高	26,120	4	28,131	769	55,023	88	689	378,252

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	32,915	49,306
減価償却費	19,436	17,230
減損損失	5,808	4,796
助成金返還損	1,053	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	574	908
修繕引当金の増減額 (△は減少)	2,460	△1,118
受取利息及び受取配当金	△3,071	△3,148
支払利息	157	177
補助金収入	△456	△106
為替差損益 (△は益)	402	△1,102
固定資産売却損益 (△は益)	△23	△694
固定資産処分損益 (△は益)	840	1,095
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,294	△17,310
投資有価証券評価損益 (△は益)	966	2,288
売上債権の増減額 (△は増加)	2,996	19,639
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,818	18,153
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,496	△11,004
その他	7,678	1,951
小計	31,125	81,062
利息及び配当金の受取額	3,100	3,387
補助金の受取額	536	126
利息の支払額	△194	△174
助成金の返還額	—	△1,102
法人税等の支払額	△13,785	△6,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,781	76,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,100	△58,374
無形固定資産の取得による支出	△1,606	△2,499
有形固定資産の売却による収入	378	895
有形固定資産の除却による支出	△298	△1,105
投資有価証券の取得による支出	△1,877	△2,623
投資有価証券の売却による収入	11,900	21,712
貸付けによる支出	△1,086	△1,100
貸付金の回収による収入	566	352
定期預金の純増減額 (△は増加)	△237	499
長期前払費用の取得による支出	△528	△255
その他	△137	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,026	△42,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	17,000	△10,000
配当金の支払額	△12,595	△13,887
非支配株主への配当金の支払額	△142	△141
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,074	△885
自己株式の取得による支出	△14,433	△10,007
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△10,034	—
自己株式取得目的の金銭の信託の払戻による収入	4,451	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△524	—
その他	228	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,123	△34,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,650	1,388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,717	464
現金及び現金同等物の期首残高	42,533	26,836
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,021	1,137
現金及び現金同等物の期末残高	26,836	28,437

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、建物及び2016年4月1日以降に取得した構築物については定額法）を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

当社は、中期経営計画を2021年度から2030年度までの10年間の経営計画と定め、2025年度から2028年度を「STAGE30 第3フェーズ」と位置付けております。2025年度に開始した第3フェーズでは、選択と集中によるポートフォリオの組み替えにより、高機能材料事業では生産能力を拡大させ最適な生産体制を構築するとともに、エラストマー素材事業では低収益製品の生産から高収益製品の生産へ注力する方針としております。このような状況を踏まえて、有形固定資産の使用状況を見直したところ、耐用年数にわたり安定的に利用され、その便益は耐用年数にわたり均等に費消されると見込まれることから、定額法による減価償却を行うことが、当社の実態をより適正に反映することができると判断いたしました。

以上の変更により、従来の方法によった場合に比べ、当連結会計年度の営業利益が2,293百万円、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ2,303百万円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社は、本社に製商品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製商品別のセグメントから構成されており、「エラストマー素材事業」及び「高機能材料事業」の2つを報告セグメントとしております。

「エラストマー素材事業」は、合成ゴム、合成ラテックス及び化成品等を生産、販売しております。「高機能材料事業」は、高機能樹脂、高機能部材、電子材料、電池材料、トナー、化学品及び医療器材等を生産、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記」に記載の通り、従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、建物及び2016年4月1日以降に取得した構築物については定額法）を採用しておりましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度のセグメント利益は、「エラストマー素材事業」において1,083百万円、「高機能材料事業」において1,206百万円、「その他」において4百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	232,469	121,551	354,020	66,627	420,647	—	420,647
外部顧客への売上 高	232,469	121,551	354,020	66,627	420,647	—	420,647
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	4,090	66	4,156	988	5,145	△5,145	—
計	236,560	121,617	358,177	67,615	425,792	△5,145	420,647
セグメント利益	10,931	17,560	28,491	3,865	32,356	△3,035	29,321
セグメント資産	237,219	148,757	385,976	46,633	432,609	101,176	533,786
その他の項目							
減価償却費	7,210	9,733	16,942	224	17,166	2,270	19,436
持分法適用会社へ の投資額	3,184	—	3,184	—	3,184	—	3,184
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	15,964	12,214	28,178	474	28,652	6,868	35,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△3,035百万円は、セグメント間取引消去△259百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,776百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額は、全社資産103,238百万円及びセグメント間消去△2,062百万円であります。

(3)その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	221,756	124,163	345,919	66,047	411,966	—	411,966
外部顧客への売上 高	221,756	124,163	345,919	66,047	411,966	—	411,966
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	1,924	53	1,977	1,309	3,287	△3,287	—
計	223,680	124,217	347,897	67,356	415,253	△3,287	411,966
セグメント利益	11,665	22,421	34,087	4,290	38,376	△2,000	36,377
セグメント資産	225,880	167,831	393,711	45,194	438,905	109,341	548,246
その他の項目							
減価償却費	7,096	7,894	14,990	259	15,249	1,980	17,230
持分法適用会社へ の投資額	3,413	—	3,413	—	3,413	—	3,413
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	19,547	41,731	61,278	822	62,100	10,595	72,695

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△2,000百万円は、セグメント間取引消去△13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,987百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額は、全社資産111,233百万円及びセグメント間消去△1,892百万円であります。

(3)その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	米国	ヨーロッパ	アジア	その他	計
153,747	70,009	42,099	55,235	87,942	11,616	420,647

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	ヨーロッパ	アジア	計
110,963	16,594	100	16,047	143,703

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	米国	ヨーロッパ	アジア	その他	計
146,201	78,737	39,257	50,391	86,633	10,747	411,966

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	ヨーロッパ	アジア	計
156,397	20,898	444	16,377	194,116

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(百万円)

	エラストマー 素材事業	高機能材料事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	4,897	600	72	240	5,808

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(百万円)

	エラストマー 素材事業	高機能材料事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	2,296	2,340	29	130	4,796

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,810.79円	1,972.74円
1株当たり当期純利益	127.43円	186.67円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	127.37円	186.58円

- (注) 1. 「株式給付信託 (BBT-RS)」が保有する当社株式は、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上、期末発行済株式総数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度において1,391千株、当連結会計年度において1,334千株であります。また、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度において1,404千株、当連結会計年度において1,352千株であります。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	26,199	36,226
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	26,199	36,226
普通株式の期中平均株式数 (千株)	205,594	194,061
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	97	97
(うちストックオプション (千株))	(97)	(97)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

(重要な子会社等の株式の売却)

1. その旨及び理由

当社は、2026年5月11日に塗料事業の譲渡を目的として株式会社トウペの当社が保有する全株式について譲渡する契約を締結しました。また、株式会社トウペが営むアクリルゴム事業について、本株式譲渡に先立ち当社が設立する完全子会社へ承継させる会社分割（吸収分割）を行うことを決定しました。

2. 売却する相手会社の名称

ナトコ株式会社（本社：愛知県みよし市、代表取締役社長：粕谷太一）

3. 売却の時期

2026年11月2日（予定）

4. 当該子会社等の名称、事業内容及び会社との取引内容

当該子会社の名称：株式会社トウペ

事業内容：アクリルゴム（エラストマー素材事業）、塗料（その他の事業）の製造及び販売

取引内容：当社へアクリルゴム製品の販売を実施しております。

※なお、アクリルゴム製品の当社への販売は、当社が設立する完全子会社に承継される予定です。

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

売却株式数：30,801,738株（議決権株式の100%）

売却価額：21.9億円

売却損失(連結)：約19億円（見込）

※なお、株式譲渡契約の価格調整条項等に従い、売却価額及び売却損失は変動する可能性があります。

売却後の持ち分比率：0%